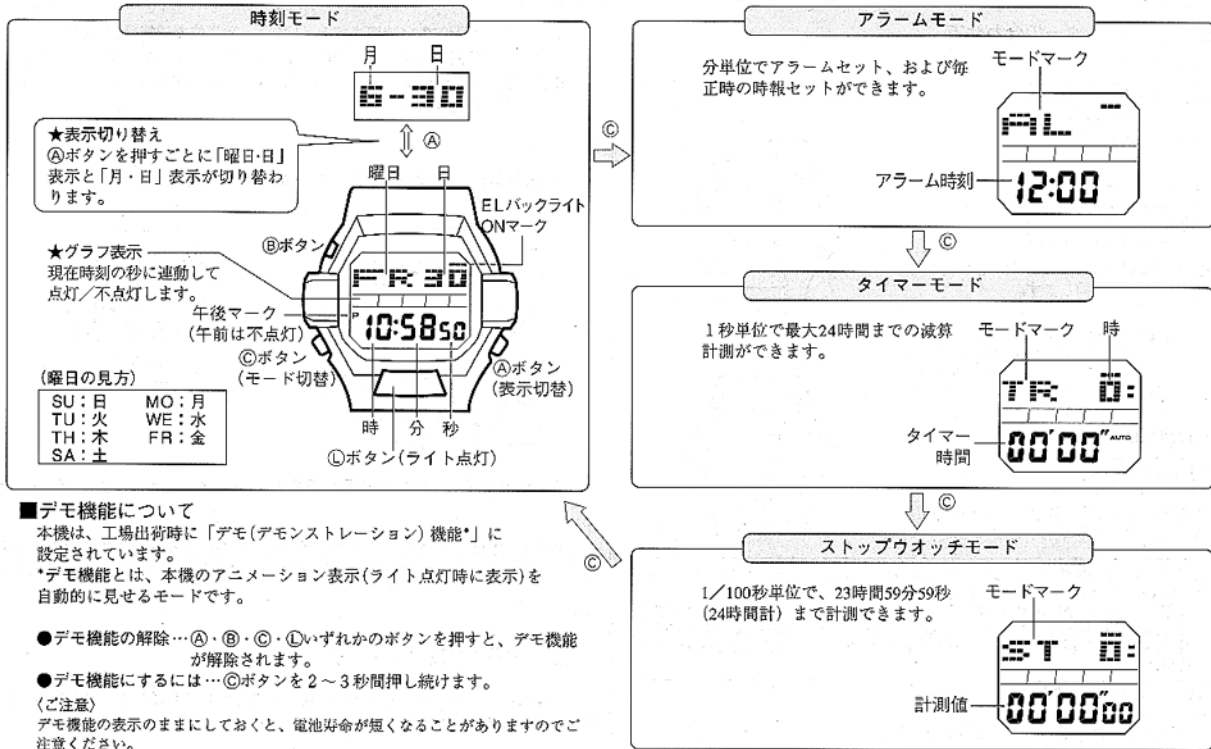


印刷物をスキャニングして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

操作のしくみと表示の見方 ©ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わります。



## ライト点灯について

どの表示のときでも、④ボタンを1回押すと、文字板が約3秒間発光し、アニメーション表示\*が動きます。

※発光中にもう一度④ボタンを押すと、その時点から引き続き約3秒間発光します。

### ●ELバックライトの自動発光

表示右上に“\*\*\*”が点灯しているときは、電子音報音のタイミングに合わせて自動的に文字板が発光します。“\*\*\*”は、時刻モードのとき、①ボタンを2~3秒間押し続けるごとに点灯/不点灯します)

※本機では、アラーム、時報報音時、およびタイマーのタイムアップ時に電子音が報音(文字板が発光)します。

### (注意事項)

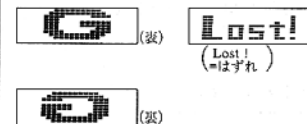
- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中にアラームなどの電子音が鳴ると、発光を中止します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは発光のためにELパネルが振動するときの音で、異常ではありません。

### アニメーション表示



\*アニメーション表示について  
文字板が発光している間、アニメーション表示が動きます。  
※④ボタンを押すタイミングによって表示される内容が異なります。  
※発光が終わると、通常表示に戻ります。

“G”マークが回転し、「表/裏/LOST! (はずれ)」の3種類のいずれかを表示します。



印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

## 時刻・カレンダーの合わせ方 電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法で合わせてください。

### ■秒の合わせ方…30秒以内の遅れ・進みの修正

月に1度くらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時刻はいつも正確です。

(1) 時刻モードのとき、

**ⓑ** ボタンを押します

→「秒」が点滅します。



(2) 時報に合わせて、

**Ⓐ** ボタンを押します

→「00秒」からスタートします。



「00秒」になる

秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。  
※時報は「時報サービス117番」が便利です。

(3) 秒セット後は、

**ⓑ** ボタンを押します

→点滅が止まります。



※秒セットのまま2～3分ボタン操作を行なわないと、自動的に点滅が止まります。

### ■時刻・カレンダーの合わせ方

(1) 時刻モードのとき、

**ⓑ** ボタンを押します

→「秒」が点滅します。

(2) セット箇所を選ぶ

**ⓒ** ボタンを押します

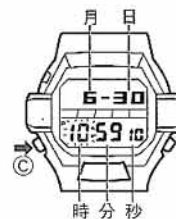
ⓒボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下の順で移動します。



(3) 点滅箇所のセット

**Ⓐ** ボタンを押します

Ⓐボタンを押すごとに数字が1つずつ進みます。※押し続けると早く進みます。



(進む)

上記(2)～(3)の操作をくりかえして、時刻・カレンダーを合わせます。  
※「時」セットのとき、午前/午後(P)、24時間制にご注意ください。  
※「年」は、1995～2039年の範囲内でセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年、および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(4) セットが終わりましたら、

**ⓑ** ボタンを押します →点滅が止まります。

※時刻・カレンダーセットのまま、2～3分ボタン操作を行なわないと、自動的に点滅が止まります。

## アラームの使い方 操作のしぐみにしたがってⓐボタンを押し、アラームモードにします。

アラームは分単位でセットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。  
※表示右上に“”が点灯しているときは、アラーム・時報の報音に合わせて文字板が光ります。

### ■アラーム・時報を鳴らすには

(1) アラームモードのとき、

**Ⓐ** ボタンを押します



Ⓐボタンを押すごとに以下の順でアラームおよび時報のON/OFFが切り替わります。

※アラーム時刻セット操作をすると、自動的にアラームON(””点灯)となります。



### ■鳴っている電子音を止めるには

アラーム音が鳴っているときに、Ⓐ・ⓑ・ⓒ・Ⓓいずれかのボタンを押します。

### ■アラーム時刻をセットする

(1) アラームモードのとき、

**ⓑ** ボタンを押します

→アラーム時刻の「時」が点滅します。※このとき“”マークが点灯します。



(2) セット箇所を選ぶ

**ⓒ** ボタンを押します

ⓒボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が「時」と「分」を移動します。



(3) 点滅箇所のセット

**Ⓐ** ボタンを押します

Ⓐボタンを押すごとに数字が1つずつ進みます。※押し続けると早く進みます。



(進む)

上記(2)～(3)の操作をくりかえして、アラーム時刻を合わせます。  
※「時」セットのとき、午前/午後(P)にご注意ください。  
※時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

(4) セットが終わりましたら、

**ⓑ** ボタンを押します →点滅が止まります。

※アラーム時刻セットのまま、2～3分ボタン操作を行なわないと、自動的に点滅が止まります。

印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

## タイマーの使い方 操作のしくみにしたがってCボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは秒単位で24時間までセットでき、秒単位で減算計測を行います。セットした時間を経過すると、10秒間の電子音でタイムアップを知らせます。※表示右上に“---”が点灯しているときは、タイムアップの報音に合わせて文字板が光ります。

### ■減算計測のしかた (タイマーの使い方)

タイマーモードのとき、

**A**ボタンを押します

Aボタンを押すと、1秒単位で減算計測を開始します。

- 計測を一時的に中断するには、**B**ボタンを押します。もう一度**B**ボタンを押すと、その時点から計測を再開します。

- 計測を中断し、計測前の表示に戻すには、**C**ボタンを押します。(計測リセット)

★残り時間が0になると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。ただし、タイマー時間が10秒以下のとき、電子音が鳴るのは1秒間となります。

### ■リピート計測/オートリピート計測

本機のタイマーは2種類あり、使い方に合わせてお好きな方法を選ぶことができます。(「タイマー時間をセットする」参照)

#### ●リピートタイマー (繰り返し計測)

タイムアップになると計測が止まり、タイマー時間を表示します。同じ時間を何回も計測するとき便利です。

- オートリピートタイマー (自動繰り返し計測) “AUTO” 点灯  
タイムアップになるとタイマー時間に戻り、計測ストップするまで繰り返し減算計測を行います。

### ■鳴っている電子音を止めるには

タイムアップの電子音が鳴っているときに、**A**・**B**・**C**・**D**いずれかのボタンを押します。

### ■タイマー時間をセットする

(1) タイマーモードのとき、

**B**ボタンを押します

→タイマー時間の「時」が点滅します。

(2) セット箇所を選ぶ

**C**ボタンを押します

Cボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下の順に移動します。



(3) 点滅箇所のセット

**A**ボタンを押します

- ★「時」「分」「秒」セットのとき**A**ボタンを押すごとに数字が1つずつ進みます。※押し続けると早く進みます。

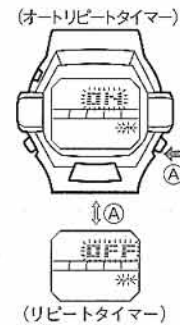
- ★タイマー方法セットのとき**A**ボタンを押すごとに“ON/OFF”表示が切り替わります。(右図)

※オートリピートタイマーにするときは“ON”、リピートタイマーにするときは“OFF”を選びます。

(4) セットが終わりましたら、

**B**ボタンを押します →点滅が止まります。

※タイマー時間セットのまま2~3分ボタン操作を行なわないと自動的に点滅が止まります。



## ストップウォッチの使い方 操作のしくみにしたがってCボタンを押し、ストップウォッチモードにします。

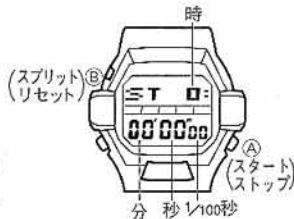
ストップウォッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒99 (24時間計)まで計測できます。計測範囲を超えると、0に戻って計測し続けます。

### ■計測のしかた

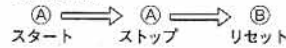
Aボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。

計測中に**B**ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。

※A・Bボタンともそれぞれ押すと、操作確認音が鳴ります。  
※計測値を0に戻すには、ストップ後、**B**ボタンを押します。

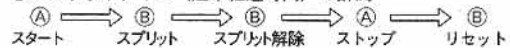


### ●通常計測



※積算計測...ロスタイムがあるときは、ストップ後リセットせずに**A**ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

### ●スプリットタイム (途中経過時間) の計測



### ●1・2着同時計測

